広報
梨の花
夏号

平成 28 年　7 月発行　第 11 号
社会福祉法人　県央福祉会
特別養護老人ホーム　おおじまの里
〒955-0094　三条市大島 3783 番地 1
電話番号　0256-33-7780
URL　http://kenfuku.jp/institution/ojimaosato/
おおじまの里　検索

5月15日≪三条祭り≫
6月5日≪凧合戦≫
に行ってきました！

《ご挨拶》

今年もすでに半年が過ぎ、暑い夏を迎えようとしています。

４月に発生した熊本地震で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。おおじまの里は少しでもお役にたてるよう募金箱を事務所窓口に設置して義援金の協力を呼びかけ、新潟県老人福祉施設協議会を通じて寄付させていただきました。被災された皆様のご健康と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

おおじまの里も、４年目を迎え、災害時の防災対策の整備の重要性を痛感しております。地域の皆様のご協力を頂き、地域防災協力員の方々も参加した避難訓練の実施や防災備品の見直しなど、災害対策に向けて取り組んでいきたいと思っています。入居者の皆様が安心・安全な生活が送れるよう、日頃からの安全対策を心掛けていきたいと思います。

今後とも、おおじまの里の運営にご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

園　長　　原　優 子

～☆～ 施設見学に行ってきました ～☆～

今年度よりユニットケアの充実をはかる為、おおじまの里ではユニットケア委員会を立ち上げ、『入居者の皆様がよりその人らしく暮らせるように』を考えていく取り組みを行っております。

その第１弾としてユニットケア委員会のメンバー１０名で、ユニットリーダー研修でも実習施設となっている、南魚沼市にある特別養護老人ホーム八色園にユニットケアの研修、見学に行ってきました。八色園では、日々の暮らしが本当にその人に合った時間で流れていたり、ユニットが一軒の家のような設えになっていたり、ユニット以外でサークル活動・喫茶などの楽しみがあったりと、おおじまの里でも参考にしたいと思う事ばかりでした。

ボランティアによる喫茶店

ユニット玄関前

担当　介護課長　小出　悦子

≪苦情報告について≫

平成 27 年の 1 年間に寄せられた 5 件の苦情を、別紙にて報告させて頂きます。皆様から頂いた苦情を貴重なご意見・ご要望と考え、施設全体で改善に取り組んでいきたいと思います。

ボランティアを募集しています！！

おおじまの里では、入居者様のお話し相手・芸能発表・車椅子掃除・草取り・将棋相手・繕いものなど幅広く募集しております。皆様に来て頂けると大変助かります。ご協力頂ける方、少しでも興味のある方は、是非おおじまの里までご連絡下さい。お待ちしております。

担当：原園長・結城・近藤（０２５６－３３－７７８０）

お知らせです★

第３回 おおじまの里まつりを開催致します！

日時は平成 28 年 8 月 27 日(土)午後 1 時半～４時を予定しております。模擬店やバルーンアートなど皆様に楽しんで頂けるように、様々な催し物を計画しておりますので、是非お越し下さい。

編集後記　「梨の花」第 11 号夏号を作成しました。今回は運動会や意見交換会、職員の研修など盛りだくさんの内容となっています。今後も皆様に読みやすい広報となるように心掛け、作成していきたいと思います。

広報委員　小柳・森山

※　この広報の写真は本人・家族の同意を得て掲載しております。

運動会

5 月 31 日（火）13:50～第 3 回おおじまの里運動会を実施しました。今年は玉入れ、障害物競走、パン食い競走を行い、73 名の入居者様と 9 組のご家族様に参加していただきました。ありがとうございました。当日は晴天に恵まれて、大盛り上がりとなり、皆さんいつもより体を動かしていられました。ご家族様からは楽しかった、一緒に参加ができて良かったと感想をいただいております。結果は白組 95 点　赤組 140 点で、赤組の勝ちとなりました。

ラジオ体操　応援合戦　フレー赤白組！！　　玉入れ　3 回戦実施して白組の勝ち！

障害物競走　ご家族様、職員とペアでくじに書いてあるものを身につけて、輪投げをしてゴール！

パン食い競走　70 名が参加し、手や口を使ってあんパンをパクっ！！みなさんいい笑顔です。

介護力向上委員会より
自立支援介護の取り組みについて

おおじまの里では、入居者の自立性の回復を目的とし自立支援介護に取り組んでいます。

自立とは「身体的自立」「精神的自立」「社会的自立」の３要素からなりたっています。高齢者においては長期にわたって身体、精神、社会的に自立した生活を送ってきた人が、加齢や病気等の要因によって身体的な自立を失いがちです。そのため高齢者においては ADL をもう１回自立できるように戻せば良い、ということになります。

自立支援介護には基本的な４つのケアがあります。

① 「水分」…水分が人間の体に与える生理的影響は大きく、水分をきちんとケアすると、ほとんどの問題は解決していきます。１日１５００ｍｌの水分摂取が目標です。

② 「食事」…自立した生活を行うためには、体力が欠かせません。１日１５００Kcal を目安に食事を適正量摂る事で、栄養状態を改善します。

③ 「排便」…腸の調子を整え、排便を自らのコントロールで行えるようにし、毎日から２～３日に１回、トイレでの自然排便を目指します。

④ 「運動」…せっかく離床をしても、車いすなどに座っているだけでは運動とは言えません。歩行を可能にするために、歩行訓練を取り入れます。歩くことはいろいろな良い反応をもたらします。

これらの基本ケアは、人間が健康に生きていくための要素なのです。水をちゃんと飲み、食事をきちんと摂取して、規則正しい便通があり運動をする。４つの基本ケアはつまり、健康体をつくりだすためのケアであり、認知症介護にも共通するものです。これほどにシンプルなことでありながら、高齢者介護においては実践に様々な問題を伴うのも事実です。

次回は水分について、もう少し詳しくお話しします。

(※白十字(株)発行「はじめよう自立支援介護基礎知識と実践」及び(株)秀和システム発行「介護の生理学」より抜粋)

担当　介護主任　松村　奈緒

～平成 28 年度第 1 回意見交換会のご報告～

6 月 18 日（土）14 時 00 分から 2 階ひだまりにて意見交換会を行いました。今回の参加者数は、入居者様 16 名、ご家族様 10 名と入居者様が多かったのが特徴的でした。

内容は、平成 27 年度事業報告、平成 28 年度事業計画、昨年度実施した入居者様・ご家族様満足度調査の結果報告、スライドショー（映写会）、意見交換でした。ご家族様満足度調査は昨年度初めて実施しました。内容は、ケアの仕方、接遇に関することが多かったです。今後も、入居者様の思いを代弁していただくことや第三者としての客観的なご意見をいただくことを期待して、継続していきたいと思っております。一年間の生活を映したスライドショーは恒例となり、今回も好評でした。後半の意見交換は、入居者様が多かったため、食事や外出に関するご意見が聞かれました。このように入居者様が主体となり参加していただくことに、この会の意義があると思います。

次回は 11 月を予定しており、内容は昨年に続き『看取り』をテーマにしていきたいと考えております。次回も多くのご参加をお待ちしております。　　担当　生活相談員　結城　真生